

キリストがよみがえられたのは

2024年3月31日

復活節

ローマ 4・25

コリント I 15・20

序：キリストの死（十字架刑、byユダヤ人とローマ人）

” 埋葬（byアリマタヤのヨセフ、ニコデモ）

福音の三要素

” 復活（by 父なる神）

I. キリストのよみがえりは事実

(1) 預言のとおり 死んで3日目に

(2) からだをもって（以前のからだと似ている面、全く違っている面）

(3) 40日間に何度も弟子たち（信じている人たち）に現れた

週の初めの日（マグダラのマリア、女性たち、ペテロ／エマオの弟子、弟子達

昇天までの間（弟子たちにさらに2回、500人以上の信者たち、ヤコブ）

昇天後（ダマスコ途上のパウロ）

預言のとおり成就、歴史の中で実際に起こったこと

福音の最重要なメッセージ：「使徒の働き」

よみがえった主に会った弟子たちの大きな変化

II. キリストのよみがえり（からの墓）への反論・仮説

(1) 弟子たちが運び去った

(2) 敵が盗んだ

(3) 実際によみがえった（⇔蘇生説、幻想説、ケリュグマ説…）

III. キリストの復活の結果

(1) 力ある神の御子

(2) 主

(3) 死を滅ぼし、勝利された方

(4) 生かす御霊

(5) 大祭司

(6) さばき主

復活は贖いの御業の中心部（十字架上の死は罪の赦しときよめ、復活は永遠の命）

罪と死とサタンに対する勝利

信じる者を造り変え、被造物全体の贖いの御計画の成就へと導く

Ⅳ. 信者の復活

- (1)キリストは眠った者の初穂 コリントⅠ 15・20、22
後に彼に続いて多くの者（信者）が復活する ヨハネ 11・25
信者の終わりの日の復活 ヨハネ 6・39～40、44、54
信者の復活は救い主の復活に基づく、続く神の御業

(2)復活のからだ

卑しいからだ ⇒ 栄光のからだ ピリピ 3・21

主の復活前のからだ（肉）＝ すぐに分かる 時間空間の制限あり
" 後 " （御霊）＝ すぐには分からない " なし
栄光と力という性質を受ける

Ⅴ. 不信者の復活

- (1)復活するのは信者だけでなく、不信者もすべての人が復活 ヨハネ 5・28
義人も悪人も必ず復活する 使徒 24・15
（キリストを受け入れた者・拒んだ者）

- (2)よみがえっていのちを受ける者 ヨハネ 5・29
" さばき "

Ⅵ. 復活の順序

- (1)先に眠った信者、それから生き残っている信者 : 空中再臨、空中携挙
(2)旧約の聖徒、患難期の聖徒 : 地上再臨～千年王国開始
(3)すべての不信者 : 最後の審判

それまでの間（からだのない状態で）、信者はパラダイス、不信者はハデスにいる

Ⅶ. 復活の実際の意義

- (1)復活は福音宣教の実質、私たちの救いの保証 コリントⅠ 15・14、17
(2)刹那的な空しい生活から救われ、意味のある生き方をするようになる
(3)キリストの復活と私たちの救いが密接に結びついている
" なしに " はない
(4)キリストとその復活の力を知って、現在、生きて働かれる主を信頼し、その力と
いのちを受けて、主に似る者へと変えられていく体験をする
(5)上にあるものを求める コロサイ 3・1

過去の回心、救いの確信、未来の救いの完成への希望とともに、現在この今、
キリストを死からよみがえらせ、勝利を与えてくださった神のいのちと力が私の
うちに働いておられる
私たちを通してなされる神の御手に望みをおいて、明け渡そう